

令和3年 3月 2日

協力活動報告書（令和3年 2月分）

清水町長

様

清水町地域おこし協力隊員

氏名 伊藤 隼 印

今月の活動報告	2月はふるさと納税の発送に関わるお問い合わせが多く、その対応を主に行っていました。 地域の良さをPRする動画や写真の発信をすることが出来ず、反省しております。個人的に清水の飲食店等を利用していたのですが、それを発信につなげていくことができなかったのも、3月は発信を多くしていきたいと思えます。 InstagramやYouTubeでの発信は飲食店に留まらず、多様なジャンルの清水のお店を取り上げて発信していきたいと思っています。その中で、清水に住んでいる方、周辺に住んでいる方だけではなく、清水に関わりのある方や清水の特産品を購入したことがある方などの「関係人口」の増加につなげていけるのではないかと考えています。今は、「もの」や「サービス」にお金を払う時代から少しずつ変化を迎えてきていて、『誰から』モノやサービスを買うかという「人」にお金を払う時代になってると言われています。そしてそれは、コロナのせいで如実に表れている気がします。外食に行きにくくなっているこの時期に、あえて外食するとすれば「困っている人」や「付き合いの長い人」や「信頼の置ける人」の店が選ばれるのは当然だと思います。そんな「人となり」が重要になってきたこのご時世で、協力隊としてできることは、その「人となりやお店の雰囲気伝える」ことなのではないかと考えています。 ただ、これに関しては「隣の人がお知り合い」という少人数のコミュニティでは、当たり前のように行われていることかもしれません。それでも、イベントが減り、観光客も減り、清水と外部の接点が減ってきている状況で少しでも役に立ちたいと思っていますので、チャレンジしていきたいと思えます。 また、私のように清水外から来た人間は、この人に払いたいと思う「人」自体が少ないというのが現状です。お仕事の関係で移り住んできた人にとっては、やはりチェーン店や大きいスーパーの使い勝手が良くて、そこを
---------	--

	メインに使うと思います。(それが悪いこととは言ってません。私もよく利用しています。) ですが、知っててどこを利用しようか選択することと、知らなくてそこしか選択していないとでは、意味合いが変わってくると思います。 知ってさえすれば「今日〇〇でこういうものが安く売っている」とか「清水マルシェで今度はここを利用してみよう」とか「〇〇さんのところで買い物してみようかな」という風になるかもしれません。私自身、そんな感じで買い物をしています。ですから、皆さんの選択肢を広げられるような活動を3月のメインにしたいと思います。 2月は全然PR活動が出来ず、1月の活動報告書での宣言が、詐欺のように聞こえてしまっていると思うので、3月は本当に動きます。平日の昼間に清水のお店を食べ歩いて写真をアップしていても、それは活動の一環ですのでご安心ください。
要望、意見等	
備考	